



写真:「中国新聞社新館屋上から」 林 重男/撮影 広島平和記念資料館/提供

展示「8月6日 あの場所で」

自分たちが暮らしている地域やそこで生活していた人たちに「8月6日 あの日」何が起こったのか、被爆の惨状、被爆後の混乱、復旧の状況などを所蔵資料から紹介します。

【期間】 2026年 **7月15日(水)** — **9月29日(火)**

期間中の休館日:第2月曜日、7月31日(金)

期間中の開館時間:月—金 10:00—21:00、土・日・祝 10:00—18:00

【会場】 広島市立中央図書館 9階広島を知るフロア 原爆・平和関係資料エリア

関連イベント

①被爆体験者の証言を聞く会

原爆投下後の広島では、どのようなことが起こったのでしょうか。一発の原子爆弾がもたらした惨禍を体験された方から、当時の様子や平和への思いを直接お話しいただきます。

講師 ^{はだ やすこ}
波田 保子 氏

(広島県原爆被害者団体協議会相談員)

日時 **8月9日(日) 13:00—15:00**

会場 **広島市立中央図書館 10階 セミナー室**

<講師紹介>

原爆投下時当時は9歳。県内の学童疎開先から、8月13日に戻って入市被爆。広島県原爆被害者団体協議会の平和学習講師として、被爆体験の講話を行っている。

②講演会「記録と記憶から読者に伝える

～『ヒロシマ ドキュメント』(中国新聞連載)を通して～

記録や証言をもとに被爆から80年の広島の歩みをたどった「ヒロシマ ドキュメント」について、中国新聞連載の経緯や企画に込めた思いなどをお話しいただきます。

講師 ^{みずかわ きょうすけ}
水川 恭輔 氏 (中国新聞社 編集局編集委員)

日時 **9月6日(日) 13:00—15:00**

会場 **広島市立中央図書館 10階 セミナー室**

<講師紹介>

2007年中国新聞社入社。報道部、備後本社などを経て現職。被爆75年企画「ヒロシマの空白」や、被爆80年企画「ヒロシマ ドキュメント」(2024年8月5日から掲載)を取材班キャップとして担当。日本新聞協会の「新聞協会賞」などを受賞。

【参加方法】①②とも

定員 各60名(先着順・参加無料)

申込方法 7月15日(水)10:00～受付開始

ホームページの申込フォームまたは中央図書館へ来館、電話(音声案内④番)、FAXから

- 手話通訳・要約筆記が必要な方は、①は7月26日(日)まで ②は8月23日(日)までにご相談ください。
- 申込に際しての個人情報、当イベントのみに使用し、他に提供することはありません。
- 当イベントは、広島市高齢者いきいき活動ポイント対象事業です。

お問い合わせ
申し込み

広島市立中央図書館

広島市南区松原町9番1号

TEL 082-298-0560 FAX 082-298-0561

<https://www.library.city.hiroshima.jp/>



関連イベント FAX 申込用紙

申込先：広島市立中央図書館 FAX 082-298-0561

7 月 15 日（水）10：00 から受付開始

申込されるイベントの番号に○をつけてください。（両方の場合は、両方に○をつけてください）

- ① 被爆体験者の証言を聞く会
- ② 講演会「記録と記憶から読者に伝える」

氏名（ふりがな）	連絡先（電話番号か FAX 番号）	備考

手話通訳・要約筆記が必要な方は、備考欄にご記入ください。

※手話通訳・要約筆記の締切

- ①は 7 月 26 日（日）
- ②は 8 月 23 日（日）